

# 薄井工務店の『家づくり』

地元密着で70年以上・気候風土と木を知りつくし、木造住宅の新築・リフォームひとすじの薄井工務店の家づくりです。

Let's start HOUSING!!



## 会社の体制について

- ✓ 地元の栃木で70年以上の信頼のもと『家づくり』をしています
- ✓ 何年経ってもOB様と良いお付き合いをしています。
- ✓ 自由性の中でも仕様価格、保証はしっかり整っています。
- ✓ SDG2の登録をし、『エシカルな家づくり』をしています。
- ✓ 安心した雇用体制のもと明るく和やかな雰囲気です。



## 工法・性能について

- ✓ W断熱で『打ち継ぎ』がない安心できる基礎工法です。
- ✓ 地元栃木の優良で安心な天然無垢材を使用しています。
- ✓ 冬は高断熱とハイブリットサッシ、夏は高遮熱をしています。



## 設計デザインについて

- ✓ 希望を叶える自由設計、素敵なデザイン法則があります。
- ✓ プランと同時にわかりやすい資金計画をご提案致します。



## 仕様・打合せ・検査・保証について

- ✓ ご契約前に仕様、オプションは全て確認します。
- ✓ 専用の自社アプリで仕様・価格・時期が確認できます。
- ✓ 厳格な自社基準の検査と、充実した保証を行います。

詳しくは各説明資料をご覧ください。

# 初めての家づくり



『初めての家づくり』わからないこと。不安なこと。たくさんあると思います。まずは、ご自身で『見て・聞いて・体感して』好みや予算などを確認し『失敗しない家づくり』を目指していきましょう。ここではメーカー選びで重要な『13のチェック項目』をまとめてあります。さあ、家づくりの始まりです。

## 第1ステージ『会社を見よう』

### Q.01 | Q1 企業としての信頼性・歴史があるか？

企業の信頼性は過去の取組や歴史を見るとわかります。HPやカタログでも確認はできますが、実際にはお会いして、出来るだけトップの姿勢を見たいですね。

### Q.02 | 口コミ・評判は良いか？

営業段階より、『建てたあと』で、その会社の評価が決まります。OB 施主様の評価などとても重要です。何年経ってもOB様と良いお付き合いをしていれば安心ですね。

### Q.03 | 説明仕様・価格保証がはっきりしているか？

説明にばらつきがあったり、仕様・価格があいまいな場合は至って保証も整っていません。自由性がある中でも、アドバイスや提案がしっかりしているかも重要です。

### Q.04 | 会社が明るい雰囲気か？

とても重要な要素です。明るい雰囲気のある会社は、スタッフが前向きでやる気があり、常に研究し新しいことにもチャレンジしています。雇用体制もしっかりし、社員を大切にしている会社です。逆に協調性がない暗い会社は、自分の成績や数字ばかりを見ていて、お客様の真の姿を見ていません。

### Q.05 | エシカルな家を造っているか？

エシカルとは…倫理的なという意味で、地球環境や人、社会に対して配慮しながら造られた家であるかです。

例えば、環境を破壊しながらつくられた素材製品・法を犯しながら考えられた家・誰かの犠牲のもとでつくられた家など。そのような事のないクリーンな労働環境の中で造られた『エシカルな家』に住みたいですね。

NEXT ▶

会社の状況を確認出来たら次は、工法や性能の確認です。

初めての家づくりで  
最初に確認すること



since 1946 薄井工務店  
栃木県宇都宮市下砥上町 1190-3 ☎ 0120-913-340

薄井工務店



http://u-41.co.jp



第4ステージ | 『仕様・打合せ・検査・保証について確認しよう』

Q11 | 資金の内訳・仕様とオプションを確認しよう

最終段階の重要項目です。含まれていると思った項目が抜けていたり、希望と違う仕様のまま契約してしまうと、その後大きな追加金額が発生してしまいます。しっかりと仕様や内訳を確認しましょう。

Q12 | 担当者との打合せの方法を確認しよう

当初は営業担当者が打合せをしますが、その後、設計者・管理者へと内容が伝わらず、トラブルになるケースはよくあります。仕様決めの順番、次期、記録方法など明確に整っているか確認しましょう。

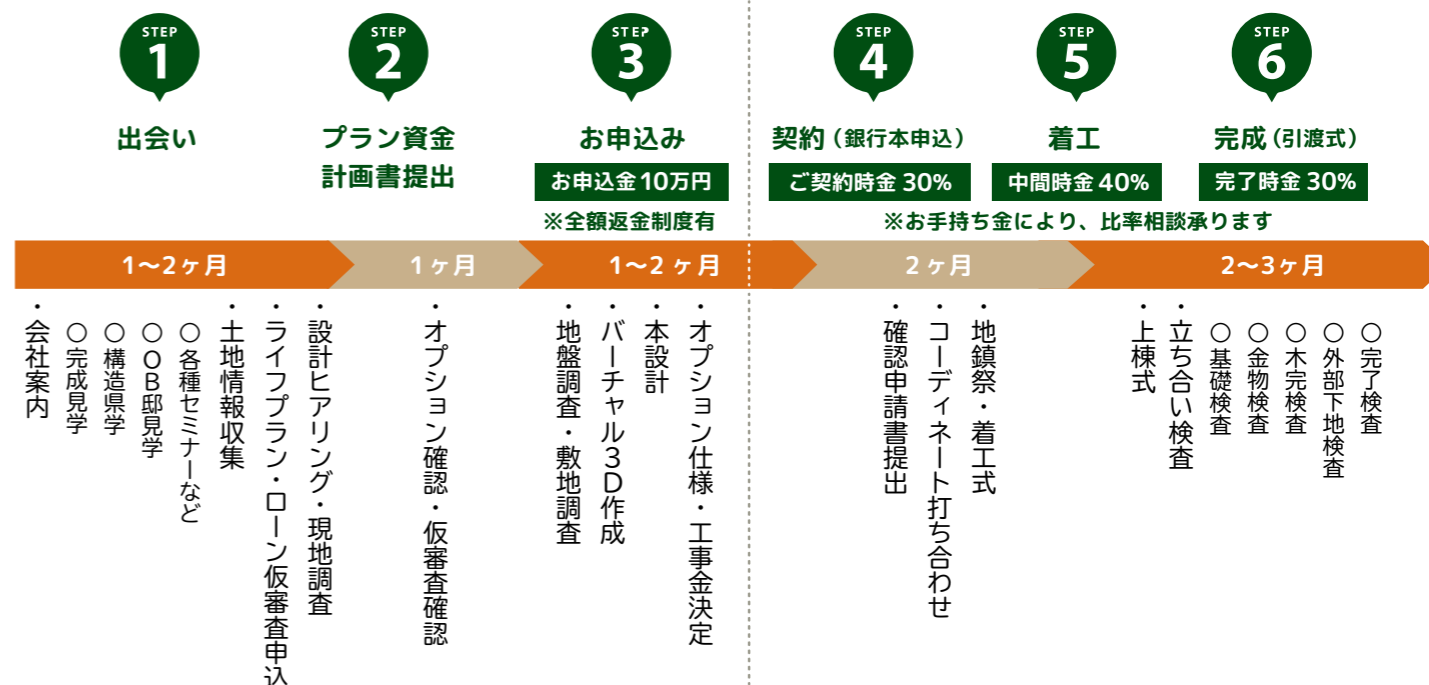
Q13 | 工程検査・定期点検・アフター管理を確認しよう

工程検査はすること自体より、何を基準とするかが重要です。会社の検査基準を確認しましょう。引渡し後の定期点検もどのような基準でいつの時期にするのか、また、不具合時などの対応なども確認しておきましょう。



ここまでクリアできればもう心配はいりません。いよいよ『家づくり』のスタートです!

新築 家づくりスケジュール



第2ステージ | 『工法・性能を見よう』

Q.06 | 安心できる基礎工法であるか?

伝統工法と在来工法の基礎は違います。長く存続する建築物は歴史に答えがあります。強いのは当然で、問題は日本の気候風土に対し、どのようにつくられているかが重要です。経年の耐久性・水害や害虫の対処・住む人の健康やメンテナンス性など確認しましょう。

Q.07 | 建てる住宅の構造躯体を確認しよう

木造軸組・ツーバイフォー・鉄骨造など工法はさまざまですが、こちらも建てた後が重要。リフォームのしやすさ・湿気や熱などによる変化。また使われている成分など、気密性の高い最近の住宅では長い間の健康への影響も考えなくてはなりません。高温多湿で自然災害の多い日本で何が一番適しているか調べましょう。

NEXT ▶

納得のいく工法・性能が確認できたら、次はいよいよ間取りとデザインそして資金計画を立ててみよう。

Q.08 | 断熱気密・遮熱性を確認しよう

断熱材は大きく分けて、発砲系と繊維系ですがその中でも性能は様々、一概に厚さでは判断できません。素材の特性、施工方法などをよく確認しましょう。サッシの種類によっても性能は大きく変わり、ガラスだけではなく枠材の性能も重要です。また、夏の暑さ対策には遮熱が欠かせません。

第3ステージ | 『好みを伝えてプランを提案してもらおう』

Q.09 | 希望のプラン・デザインはあるか?

プランはユニット工法や規格など、ある程度固定された『規格プラン』と、好みに合わせた『自由設計』があります。規格は効率的にできるが自由性がなく、自由設計は造りて側のセンスや技術力によりバラツキがでます。プロからの適切な提案を確認しましょう。

Q10 | 住宅ローンの借入、資金計画を確認しよう

プランと同時に資金計画を出してもらおう。本体費用・付随する費用・オプション費用・本体外諸費用・土地関連費用の合計となります。同時に住宅ローンの借入先を決め、無理のない資金計画の提案を求めましょう。

NEXT ▶

プランと資金がまとまれば、いよいよ次は契約に向けての最終確認です。ここをしっかりと確認し、後悔しない家づくりをしていきましょう。